



# 卒業制作 2005 上演作品スケジュール

卒業制作として登録している学生は大きめに表示されています。

## space 空間

11月25日(金) 18:00 開演  
[終演後アフタートーク]  
26日(土) 16:00 開演  
料金: 前売 300円 当日 500円

## Body & Soul

音・光・身体。感鳴するリズム  
演出・振付・出演: 長津陽介  
おとといの晩に食べたごはんが  
思い出せないでいる。  
~からだから始まり、身体で終わってゆく一色めいたとある空間~  
作・演出・出演: 山田大

照明: 三國創  
照明補佐: 牧野千明[舞2]  
音響: 吉井貴則[舞3]  
音響補佐: 塩見結莉耶[舞2]  
舞台美術: 京極朋彦[舞3]、近藤千弘[舞3]  
映像: 瀧山ちひろ[情D2]  
映像補佐: 広田周作[映2]  
衣裳: 今吉こんきち[空D4]  
舞台監督: 山本容子  
制作: 斎藤悠

### vol.1 ダンス/Mixed Media Performance

12月2日(金) 19:00 開演  
3日(土) 13:00 開演  
17:00 開演  
[終演後アフタートーク]  
料金: 一般 前売 500円・当日 800円  
学生 300円  
(当日喪服着用で来場の方は無料)

## 大葬動

原案・演出: 宮澤知宏 演出助手: 中村宜通  
作: 佐藤浩之、丹内浩之[映4]  
近未来の日本。進む高齢化と少子化の勢いは止まる事を知らない。それによる財政破綻、国民は医療費全額負担を強いられることに。そんな社会情勢の中から満を持して出現した「葬式エンターテインメント化計画」とは。

出演: 加藤未来、坂本優、佐藤浩之、武内彩、中村宜通、林ヘウオン、宮西麻耶、宮澤知宏 他  
音響: 片橋美保[舞卒]  
照明: 越本佳世子[舞3]  
舞台美術: 森由里香  
小道具: 別府多美子  
衣裳: 松本絵里子、服部憲治[環D3]  
映像: 丹内浩之  
舞台監督: 安藤光  
制作: 武内彩、宮西麻耶

### vol.2 演劇

12月9日(金) 19:00 開演  
10日(土) 14:00 開演  
[終演後アフタートーク]  
料金: 一般 前売 800円・当日 1000円  
高校生以下 500円(要学生証)

## キュロツツ greyscale

作・演出: 中村公 演出・振付・美術: 黒田政秀[映4]  
前人未到の記憶  
ただそこにある不在  
ただ忘れ続け  
断続的に繰り返される内的不在  
空から飛びおりた先に着地点はなく  
今、あるという事が何の前提もないまま始まっている  
キュロツツ  
2002年結成。京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科の9名を中心に活動。言葉と身体の関係性を探り、新しいベクトルを見出す試みをしている。

出演: 池上聡子[映4]、金子仁司、出口展絵[舞2]、西崎幹人、平田里奈  
構想: キュロツツ  
音響: 満田薫  
映像・音楽: 寺田耀児[映4]  
照明: 浜本なみ子  
美術: 清野千萩  
衣裳: 魚住郁  
舞台監督: 花房成章  
制作: 伊藤美帆[舞2]、魚住郁、平田里奈

### vol.3 コンテンポラリーダンスアート

12月16日(金) 19:00 開演  
[終演後アフタートーク]  
17日(土) 14:00 開演  
17:30 開演  
料金: 前売 600円 当日 800円  
12月公演(1)と1月公演(2)の  
前売セット券 1000円

## シジミ 蜷ルリイロ

作・演出・出演: 川崎香織、増田美佳  
だから耳をすます  
アンサンブルの為に

作品編集: 村川拓也[映卒]  
音響: 土井新二郎[院2]  
照明: 高原文江[院2]  
舞台美術: 相模友士郎[映3]  
衣裳: 今吉こんきち[空D4]  
舞台監督: 花房成章  
制作: 山口幸子[映3]

### vol.4 演劇とダンス

12月23日(金) 18:00 開演  
[終演後アフタートーク]  
24日(土) 13:00 開演  
17:00 開演  
料金: 前売 学生 500円・一般 1000円  
当日 学生 800円・一般 1300円  
24日限定ペア割引あり...[要予約]  
男女問わずお二人の料金から200円引き

## 面影ひろい

作・演出・出演: 西富万葉、野瀬杏子  
残り香  
びっちり くっつける  
びっちり なめて  
びっちり すりこむ

## KIKIKIKIKIKI プロポーズ

振付・演出: きたまり(北真理子)  
結婚したい 結婚したい  
愛欲に溺れる  
肉欲に溺れる  
この不安から逃れるために  
この場所から逃れるために

出演: 小島美香[舞3]、津田知沙[舞3]、佐藤有里[舞2]、住友星未[舞2]、高田麻里子[舞2]、花本ゆか[舞2]  
演出助手: 京極朋彦[舞3]  
音源制作: 渡部綾子[舞2]  
音響: 魚住郁、富松悠[舞3]  
照明: 山本容子、豊山佳美[舞3]  
舞台美術: 大道玲子  
衣裳: 浜本なみ子  
舞台監督: 安藤光  
制作: 西村野歩子、斎藤悠、渡守希[舞3]

### vol.5 ダンス

上記の上演作品の内、学科教員により選考された優秀作品を再演いたします。

上演期間[予定]: 2006年 3月 10・11・12日  
会場: 京都芸術劇場 studio21  
料金: 無料

※2006年1月中旬に再演作品決定。詳細はお問い合わせ下さい

#### その他の卒業制作作品

- 加藤 征爾 [展示物]
- 斉村 朝子 [架空上演の記録]
- 穴戸 亜紀子 [論文]
- 別府 多美子 [論文]
- 松本 絵里子 [論文]

主催: 京都造形芸術大学 映像・舞台芸術学科  
〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山2-116  
TEL: 075-791-9353 [受付:平日9:00~17:00]

卒業制作に関する問い合わせ  
TEL: 090-9990-7242 [アンドウ]  
e-mail: sotsusei-2005@hotmail.co.jp  
http://eizo-butai.org/2005/butai\_index.html

## 会場: 京都芸術劇場studio21



JR・近鉄(京都)、阪急(河原町)、京阪(三条)  
→市バス5番[岩倉行き]  
「上終町・京都造形芸術大学前」下車  
市営地下鉄(丸太町・北大路)  
→市バス204番系  
「上終町・京都造形芸術大学前」下車  
京阪(出町柳)  
→叡山電車乗換 茶山駅下車 徒歩7分  
※お車でのご来場はご遠慮下さい

※舞: 舞台芸術コース、映: 映像芸術コース、情D: 情報デザイン学科  
環D: 環境デザイン学科、空D: 空間演出デザイン学科  
院: 大学院、卒: 卒業生、数字: 学年





第3期生

映像・舞台芸術学科学科長 太田省吾

卒業後への眼差の中で  
卒業制作を、これまで企画段階のはじめから自力でという方針で実行してきていて、われわれにとっては当然のように思われていることだが、(日本の大学では稀なことなのだ)この「当然」はどんな考えに基づいているのだろうか。そこには、実は芸術教育の隣間、「芸術は教えられるか」についての一つの答えがこめられているとよいように思っている。<なにを-いかに>を教えることはできる。しかし「なぜ」は教えられない。そして、しかしこの「なぜ」こそ表現活動の源泉であり大事な問いなのである。卒業制作を企画段階から自力ではじめるとは、この「なぜ」からはじめるということであり、その問いから現われてくるものを見たいということだ。それは同時に、作品への眼差を卒業後へ向けることを意味している。卒業後の持続のために必要の問いだからだ。持続のためには、その「種」が必要だ。「種」となるべき作品がなければ持続は現実的でなくなる。「種」となるべき作品が生み出されることを楽しみにしている。

映像・舞台芸術学科学科長 山田せつ子

時間をかけて実らせてきた果実も、最後の取り入れは大いなる工夫が大事。頭の先から足の先まで駆使して、そう、耳の後ろや、指の間にも手伝ってもらって。そしてかつ、恐れることなく大胆に驚掴みする勇氣も持って。ただし、この実(身)は一人を取り入れることができない。人や物や場の力を得て実現する。あなた達が八方手を尽くして獲得した「その時」が人々の前に現れるのを楽しみにしよう。きれいにラッピングされていても、匂いを失った野菜や果物より、ジュシーで香り高く、歯ごたえのあるものを食べたい。苦味のある野菜はからだに大切なものを持っているらしい。あなた達の収穫物が深い言葉を内包し、「からだ」というたった一度だけ出会えた器を愛し、その壇場の中で育てられたマグマが、喜びにも悲しみにも痛みにも変容し、見るものに届けられることを期待しています。

SOTSUGYOU SEI SAKU~



総合制作  
【制作部】舞台監督部  
安藤光、片瀬亜貴子、西村野歩子、花房成章、山本容子

- 卒業制作
- vol.1 11/25.26 Body & Soul おとといの晩~
  - vol.2 12/2.3 大舞動
  - vol.3 12/9.10 greyscale
  - vol.4 12/16.17 蜆ルリイロ
  - vol.5 12/23.24 面影ひろい プロポーズ

この4年間で3期生が経験してきた舞台作品を紹介  
舞台づくりの-から自分たちで進め個々に自身の表現を模索してきました  
紹介作品の内容  
作品に関わった学生の感想も共に紹介します  
( )は感想を書いた学生がその作品で担当していた役職

□ □ は3期生が中心となっていた企画や授業 □ □ は3期生が参加していた企画や授業

2002

2002.6 劇団神社の近くの家々 羊の行進 大学内教室

2002.11 春研プロデュース 開眼 大学内教室

2002.12 山田せつ子授業発表公演 dance? この国にはこのような人がいる 大学内

2003

2003.7 ジョン・ジェスラン 授業発表公演 BARDO studio21

2003.9 ほごうた 寿歌 studio21

2003.9 キュロッツ カルタ studio21  
手探りの状態で進んでいく舞台づくり。反省を残しましたが、これからキュロッツはゆっくりと確かに灯り続けていこうと思いました。 魚住郁 (舞台監督・衣裳)

2003.11 DANCE CIRCUS 参加作品 ひなげし 雑糞粟の庭 Arts Theater dB  
きたまり: ソロダンス

2003.10 Vinyl rain ホットケーキ ゆうゆうセンター 宮澤: 演出・出演

2004.2 煙草盆 インゲンの、でも アトリエ劇研  
舞台上には、話している人、踊る人、ウロウロする人。三人はお互い関わりは無い様でもあり、理由があって共存している様でもある。 中村宜通 (出演)

2004.7 C.T.T. 共催 しゅうせんみち 鞆遷道 アトリエ劇研  
怠惰のために訓練をせねば! 最初の一步は遠回り。おかげで匂と風に気づきました。 野淵杏子 (演出・出演)

2004.9 mum studio21  
自分の解釈が演出の解釈と異なり、ぶつかる時もありましたが、それは一つの作品を作り上げる為のプロセスとして必要なことなのだと感じました。 武内彩 (出演)

2004.12 砂連尾理+寺田みさこ 授業発表公演 〇式ドロップス studio21  
踊りたい! という気持ちとは裏腹に固まってしまう身体にもどかしさを感じていました。他者に振付をしてもらうという助けをかりて踊ることの快楽を必死に探りました。山本容子 (出演)

2005.2 松田正隆 授業発表公演 灰路地 studio21

2005.3 月影草子 法然院  
「寺」という独特な気配を醸す背景において、空間との調和・感嘆の中で生まれる唯一無二なる舞踏の刹那を追及した。一期一会の舞踏絵巻。 長津陽介 (企画・出演)

2005.7 岩下徹 授業発表公演 とにもかくにも 大学内

2005.8 キュロッツ 「GOD」 studio21  
社会的にネガティブな欲望。死にたい 息がたい 眠たい etc... の価値を肯定する肉体的表現でした。 西崎幹人 (演出)

2004

2004.2 松田正隆授業発表公演 ニュータウンコスモス studio21  
エチュードを素に-から台本を作っていく作業というのはとても大変でした。個々の空想がひとつの街を作り上げていく。今までにない新鮮さがありました。 宮澤知宏 (出演)

2004.4 KIKIKIKIKIKI [改訂版] 女の子と男の子 studio21  
制作と美術補佐という立場で関わり、チーフのサポートをしつつ自ら仕事を探してこなしていく楽しさを知りました。 清野千萩 (舞台美術)

2004.9 であろうがなかろうが studio21  
予定されていた文字が口から出て舞台に存在した、その場の責任を知りました。 川崎香織 (企画・出演)

2004.10 Vinyl rain 大衆ポーカー 東山青少年活動センター 宮澤: 演出・出演

2005.1 山田せつ子授業発表公演 アンドロメディウム細胞群 studio21  
照明的には苦戦でした。先生のダメだしに対応出来ず、自分のプランの不完全さが、あからさまになり、とても勉強になりました。 三國創 (照明)

2005.7 川村毅 授業発表公演 トラウマ学園 GOIGO! studio21

2005.7 高嶺格 授業発表公演 海馬Q studio21

2005.8 キュロッツ 「GOD」 studio21  
社会的にネガティブな欲望。死にたい 息がたい 眠たい etc... の価値を肯定する肉体的表現でした。 西崎幹人 (演出)

2005.3 振付家の為の構成力養成講座 キュロッツ 空から飛びおる AI ホール  
講座を含めこの作品を通して僕は様々な反動を感じました。僕たちは舞台という特異なコミュニケーションにおいての解釈をより一層つきつめていきたい。 黒田政秀 (振付・演出)

2005.7 ワルシャワ国際学生演劇祭 小町風伝 文化科学宮殿  
ところ変われば品変わる。向こうの人は我々とは異なっていたが、我々自身も京都にいた時とは全く違っていた ような気がする。 花房成章 (舞台監督・出演)

2005.5 KIKIKIKIKIKI サカリバ studio21  
衣装によって作品の雰囲気ガラリと変わったのが面白かったし、ダンサーってか女子に喜んで貰ったことが嬉しかった作品でした。 浜本なみ子 (衣裳)

2005.5 黒田政秀+池上聡子 愛する私がいる あなたがいる studio21  
バルッカシュレドレンとの交流プロジェクト

2005.3 そして、私たちは studio21

2005.5 KIKIKIKIKIKI サカリバ studio21  
衣装によって作品の雰囲気がガラリと変わったのが面白かったし、ダンサーってか女子に喜んで貰ったことが嬉しかった作品でした。 浜本なみ子 (衣裳)

2005.5 黒田政秀+池上聡子 愛する私がいる あなたがいる studio21  
バルッカシュレドレンとの交流プロジェクト

2004.12 川村毅授業発表公演 わらの心臓 studio21  
二つの役職をやるという事は、私にとってこの大学の授業発表でのツキモノとなっていて、この公演もそれは私の課題でした。この頃自分なりの答えが見つかり始めたと思う。安藤光 (舞台監督・出演)

2004.9 office 水洗 flowerpot 東山青少年活動センター  
「植物が伸びていた、また空が動いていくその時間」をテーマに舞台作品をつくる。企画、演出、振付、出演、映像、サウンド、宣伝美術と、一連の作業を一貫して行うことで自分の表現を見出した。 山田大

2004.7 ケイコ・クルディ 授業発表公演 AYA 春秋座  
身体、マシン、春秋座、落雷、しびれ、言葉、うた、人、時間。問題は山積みでなんしか大変だった。 別府多美子 (出演)

2004.2 劇団月光斜 Look the Gate 立命館大学内

2004.1 岩下徹授業発表公演 まったなし studio21  
即興ダンスを公演する、今振り返るとすごいことをしたなと思います。なんですすごいと感じるのが今の自分の課題だとも思います。舞台にどう立つか、一つの始点でもある体験でした。 金子仁司 (出演)

2004.6 KUNIO01 ベリカン家の人々 ガシャガシャポン☆=あめにゃ! ぼうけんバ アトリエ劇研

2003.9 M☆3 広辞苑の使い方 studio21

2003.7 宮沢章夫授業発表公演 アイスcreamマン studio21  
美術のことだけでなく、舞台作りという集団でひとつのモノをつくるという難しさも知り得ることが出来ました。 森由里香 (舞台美術)

2003.6 wwwwwwH 大学内

2003.6 teuto アドア 春秋座

2003.3 ジョン・ジェスラン 授業発表公演 アニュータ 大学内教室  
ひとつの作品を立ち上げる為には大変なエネルギーがいることを実感した。そのエネルギーが快感に変わる瞬間がぞくぞくしてたまらない。きたまり (演出)

2003.3 dots うつつなれ studio21

2003.3 辻企画 レス studio21

2002.11 DANCE CIRCUS 参加作品 ひなげし 雑糞粟の家 Arts Theater dB  
きたまり: ソロダンス

2002.11 春研プロデュース 開眼 大学内教室

2002.12 山田せつ子授業発表公演 dance? この国にはこのような人がいる 大学内

2002.6 劇団神社の近くの家々 羊の行進 大学内教室

2002.11 春研プロデュース 開眼 大学内教室

2003.7 ジョン・ジェスラン 授業発表公演 BARDO studio21

2003.9 ほごうた 寿歌 studio21

2003.9 キュロッツ カルタ studio21  
手探りの状態で進んでいく舞台づくり。反省を残しましたが、これからキュロッツはゆっくりと確かに灯り続けていこうと思いました。 魚住郁 (舞台監督・衣裳)

2003.10 Vinyl rain ホットケーキ ゆうゆうセンター 宮澤: 演出・出演

2004.2 煙草盆 インゲンの、でも アトリエ劇研  
舞台上には、話している人、踊る人、ウロウロする人。三人はお互い関わりは無い様でもあり、理由があって共存している様でもある。 中村宜通 (出演)

2004.7 C.T.T. 共催 しゅうせんみち 鞆遷道 アトリエ劇研  
怠惰のために訓練をせねば! 最初の一步は遠回り。おかげで匂と風に気づきました。 野淵杏子 (演出・出演)

2004.9 mum studio21  
自分の解釈が演出の解釈と異なり、ぶつかる時もありましたが、それは一つの作品を作り上げる為のプロセスとして必要なことなのだと感じました。 武内彩 (出演)

2004.12 砂連尾理+寺田みさこ 授業発表公演 〇式ドロップス studio21  
踊りたい! という気持ちとは裏腹に固まってしまう身体にもどかしさを感じていました。他者に振付をしてもらうという助けをかりて踊ることの快楽を必死に探りました。山本容子 (出演)

2005.2 松田正隆 授業発表公演 灰路地 studio21

2005.3 月影草子 法然院  
「寺」という独特な気配を醸す背景において、空間との調和・感嘆の中で生まれる唯一無二なる舞踏の刹那を追及した。一期一会の舞踏絵巻。 長津陽介 (企画・出演)

2005.7 岩下徹 授業発表公演 とにもかくにも 大学内

2005.8 キュロッツ 「GOD」 studio21  
社会的にネガティブな欲望。死にたい 息がたい 眠たい etc... の価値を肯定する肉体的表現でした。 西崎幹人 (演出)

2005.3 振付家の為の構成力養成講座 キュロッツ 空から飛びおる AI ホール  
講座を含めこの作品を通して僕は様々な反動を感じました。僕たちは舞台という特異なコミュニケーションにおいての解釈をより一層つきつめていきたい。 黒田政秀 (振付・演出)

2005.7 ワルシャワ国際学生演劇祭 小町風伝 文化科学宮殿  
ところ変われば品変わる。向こうの人は我々とは異なっていたが、我々自身も京都にいた時とは全く違っていた ような気がする。 花房成章 (舞台監督・出演)

2005.5 KIKIKIKIKIKI サカリバ studio21  
衣装によって作品の雰囲気ガラリと変わったのが面白かったし、ダンサーってか女子に喜んで貰ったことが嬉しかった作品でした。 浜本なみ子 (衣裳)

2005.5 黒田政秀+池上聡子 愛する私がいる あなたがいる studio21  
バルッカシュレドレンとの交流プロジェクト

2005.3 そして、私たちは studio21

2005.5 KIKIKIKIKIKI サカリバ studio21  
衣装によって作品の雰囲気がガラリと変わったのが面白かったし、ダンサーってか女子に喜んで貰ったことが嬉しかった作品でした。 浜本なみ子 (衣裳)

2005.5 黒田政秀+池上聡子 愛する私がいる あなたがいる studio21  
バルッカシュレドレンとの交流プロジェクト

2004.12 川村毅授業発表公演 わらの心臓 studio21  
二つの役職をやるという事は、私にとってこの大学の授業発表でのツキモノとなっていて、この公演もそれは私の課題でした。この頃自分なりの答えが見つかり始めたと思う。安藤光 (舞台監督・出演)

2004.9 office 水洗 flowerpot 東山青少年活動センター  
「植物が伸びていた、また空が動いていくその時間」をテーマに舞台作品をつくる。企画、演出、振付、出演、映像、サウンド、宣伝美術と、一連の作業を一貫して行うことで自分の表現を見出した。 山田大

2004.7 ケイコ・クルディ 授業発表公演 AYA 春秋座  
身体、マシン、春秋座、落雷、しびれ、言葉、うた、人、時間。問題は山積みでなんしか大変だった。 別府多美子 (出演)

2004.2 劇団月光斜 Look the Gate 立命館大学内

2004.1 岩下徹授業発表公演 まったなし studio21  
即興ダンスを公演する、今振り返るとすごいことをしたなと思います。なんですすごいと感じるのが今の自分の課題だとも思います。舞台にどう立つか、一つの始点でもある体験でした。 金子仁司 (出演)

2004.6 KUNIO01 ベリカン家の人々 ガシャガシャポン☆=あめにゃ! ぼうけんバ アトリエ劇研

2003.9 M☆3 広辞苑の使い方 studio21

2003.7 宮沢章夫授業発表公演 アイスcreamマン studio21  
美術のことだけでなく、舞台作りという集団でひとつのモノをつくるという難しさも知り得ることが出来ました。 森由里香 (舞台美術)

2003.6 wwwwwwH 大学内

2003.6 teuto アドア 春秋座

2003.3 ジョン・ジェスラン 授業発表公演 アニュータ 大学内教室  
ひとつの作品を立ち上げる為には大変なエネルギーがいることを実感した。そのエネルギーが快感に変わる瞬間がぞくぞくしてたまらない。きたまり (演出)

2003.3 dots うつつなれ studio21

2003.3 辻企画 レス studio21

2002.11 DANCE CIRCUS 参加作品 ひなげし 雑糞粟の家 Arts Theater dB  
きたまり: ソロダンス

2002.11 春研プロデュース 開眼 大学内教室

2002.12 山田せつ子授業発表公演 dance? この国にはこのような人がいる 大学内

2002.6 劇団神社の近くの家々 羊の行進 大学内教室